

しあかしゆく 議会だより

第248号

令和5年11月1日(2023年)



今年も美味しい

蕎麦ができました。

十月下旬より各店舗で

提供されます。

令和5年度第1回議会報告会、懇談会開催報告	2 p ~ 3 p
令和5年9月定例会(令和4年度決算審査外)	4 p ~ 10 p
議案の審議結果・意見書の採択	11 p
議会行政視察(福島県只見町・新潟県新発田市)	12 p ~ 13 p
4名議員が町に問いかける 一般質問	14 p ~ 17 p
クローズアップ(井上鎮夫 <small>いのうえ しずお</small> さん) 編集後記	18 p

「議会報告会 並びに 懇談会」

湯原地区、関地区で 開催いたしました

各地区の皆さんに様々なご意見を頂きありがとうございました。これからの議会活動に活かしていきたいと思ひます。



8月24日 関活性化センター



8月23日 湯原コミュニティーセンター

会場でのアンケートにご協力いただきました。

- 議会報告会について
議会報告会の内容説明や資料については解り易く、丁度良いとの評価を頂きましたが、日程は平日午後が良いとの意見を頂いております。
- 町議会活動について
行政のチェック機能や行政提言は評価できるとの意見を多数頂きましたが、評価できないとの厳しい意見もありました。また、町民の方との対話を増やした方が良いのではとの意見もありました。
- 議会だよりについて
読みやすいとの評価を頂きました。
- その他
防災対策や農林業の振興、医療の充実や生活支援など議会ですっかり取り組み、行政提言すべきとの意見を頂いております。

これからも「開かれた議会」に向けた改革を進め、七ヶ宿町がより暮らしやすい町になるよう行政へ提言してまいります。

懇談会で町民の方より出された提言への対応を抜粋し紹介します

【提言】
燃料などの高騰が続く中、高齢者の生活が大変なので町の生活支援策が必要。

【議会対応】
9月定例会で高橋きく子議員が一般質問を行い、町の対応を質しました。詳細は17ページをご覧ください。



【提言】
滑津地区の上小松沢に架かる橋が損傷し危険なためわらじコースが変更されたが、今後、橋の補修等はどうするのか。

【議会対応】
9月定例会で五十嵐敏夫議員が一般質問を行い、町の考えを質しました。詳細は14ページをご覧ください。



【提言】
大雨の際、流木等による河川災害が危険なので県や町の対策が必要。

【議会対応】
9月定例会で高橋浩之議員が一般質問を行い、町の考えを質しました。詳細は16ページをご覧ください。



【提言】
農地への縛りを無くすため、農業振興地域の見直しをして欲しい。

【提言】
湯原地内の町道舗装が傷んでいるので舗装の打ち替えをして欲しい。

【議会対応】
産業建設常任委員会の所管事務調査で町の対応を調査し、適切な提言をしていく。

【提言】
電気柵の雪害に対する行政支援をして欲しい。

【議会対応】
総務文教常任委員会の所管事務調査で町の対応を調査し、適切な提言をして行く。

【提言】
旧薬局の具体的な有効活用の計画を示して欲しい。

【提言】
ダム公園の桜の木にネームプレートを再掲示して欲しい。

【議会対応】
産業建設常任委員会の所管事務調査で現地確認し、公園内に新たな記念碑の設置を提言しているため、今後も提言を継続したい。

◆主な案件

- ・教育委員会委員の任命
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任
- ・人権擁護委員候補者の推薦（2件）
- ・条例の制定
- ・その他（財産の取得等）
- ・一般会計補正予算
- ・特別会計補正予算
- ・令和4年度決算審査
- ・決算特別委員会委員長報告
- ・一般質問

◆教育委員会委員の任命

〔提案理由〕
委員1名について、令和5年10月5日任期満了となるため、その後任を任命しようとするもの。



今井 絵里氏
（瀬見原地区）

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

〔提案理由〕
委員1名について、令和5年9月11日任期満了となるため、その後任を選任しようとするもの。



市川 佳枝氏
（関地区）

〔提案理由〕
現委員の任期満了に伴い、その後任を推薦しようとするもの。（2名）

◆人権擁護委員の推薦



高橋 富美氏
（大原地区）



山田 道子氏
（湯原地区）

◆条例の制定

◆七ヶ宿町有害鳥獣減容化処理施設の設置及び管理に関する条例

〔提案の理由〕

捕獲した有害鳥獣の処理施設を設置するため、本条例を制定しようとするもの。



▲減容化処理施設

〔問〕 渡部 英幸 議員
施設の管理体制と休日の捕獲対応は。

〔答〕 農林建設課長
施設は町と追い払い隊で管理し、休日に捕獲したものは冷蔵庫に保管し平日に処理する。

一般会計補正予算（第3号）

2800万円追加

町営バス特別会計補正予算（第1号）

200万円追加

介護保険特別会計補正予算（第1号）

800万円追加

〔問〕 五十嵐 敏夫 議員
小中学校のバリケードと防犯カメラ設置の内容は。

〔答〕 教育委員会参事
バリケードは小中学校とも1ヶ所。カメラは小学校3ヶ所、中学校4ヶ所で教職員がリアルタイムで監視する。

〔問〕 高橋 浩之 議員
文化財保護費増額の理由は。

〔答〕 公民館長
矢立地区内の遺跡試掘調査を行う。

令和5年度 財産の取得 道路維持作業車

〔問〕 渡部 英幸 議員
は。

〔答〕 農林建設課長
購入車体の形状はシングルキャブのキャリアカーでウインチを装備している。

現在の道路維持作業車両

1 取得目的	町道等の維持整備のため
2 数量	1台
3 契約金額	834万1781円
4 契約相手	いすゞ自動車東北（株） 宮城支社仙南支店



令和5年度 庁舎エレベーター整備工事請負契約の締結

〔問〕 渡部 英幸 議員
指名業者数と落札率。設置場所と特徴は。

〔答〕 総務課長
7社指名で1社辞退。落札率は99・14%。庁舎裏の外に車いすでも利用できる11人乗りを設置する。

1 契約目的	庁舎エレベーター整備工事
2 契約方法	指名競争入札
3 契約金額	5940万円
4 契約相手	羽陽建設（株）



令和5年度 防災備蓄倉庫新築工事請負契約の締結

1 契約目的	防災備蓄倉庫新築工事
2 契約方法	指名競争入札
3 契約金額	8118万円
4 契約相手	ヤマザキ建設（株） 七ヶ宿営業所

令和5年度 庁舎エレベーター整備工事請負契約の締結

〔問〕 渡部 英幸 議員
指名業者数と落札率は。

〔答〕 総務課長
7社指名で1社辞退。落札率は98・47%。



令和4年度 経費の構成 (歳出)
一般会計決算総額 26億8757万円
 前年度より1億5212万円支出増となりました

民生費
 総額3億2332万円

- 社会福祉協議会補助金
- 保育所新築工事実施設計業務
- 生活支援商品券発行 (全世帯)

総務費
 総額5億669万円

- 地域おこし協力隊事業
- 元気な地域づくり交付金事業
- 結婚新生活応援金支給 (1世帯)

農林水産業費
 総額3億7514万円

- ライスセンター建設工事
- 有害鳥獣処理施設建設工事
- 入浴施設管理業務

衛生費
 総額4億5996万円

- ワクチン・予防接種業務
- 一般廃棄物収集運搬業務
- 住民健診事業実施

土木費
 総額2億3607万円

- 担い手づくり支援住宅新築工事
- 町道大深沢線舗装修繕工事
- 住みたい住宅応援事業助成 (9世帯)

商工費
 総額1億6450万円

- 原油価格・物価高騰支援事業
- ふるさと交流体験館管理業務
- 水芭蕉あずまや建て替え工事

教育費
 総額2億3050万円

- 自慢の学校づくり推進事業
- スクールバス運行事業
- 宇検村交流事業

消防費
 総額9218万円

- 消防団員確保対策業務
- 消防施設修繕
- 防災無線保守点検業務

令和4年度 財源の構成 (歳入)
一般会計決算総額 27億9997万円
 前年度より1億6054万円収入増となりました

基金繰入金
 総額1億9041万円

- 地域担い手づくり基金繰入金
- 世代間交流対策基金繰入金
- 減債基金繰入金

町税
 総額5億2464万円

- 固定資産税
- 国有資産ダム交付金

地方交付税
 総額12億3326万円

- 普通地方交付税
- 特別地方交付税

地方債
 総額1億9271万円

- 過疎対策事業債 (農地整備事業・有害鳥獣処理施設・ライスセンター建築)
- 臨時財政対策債

その他
 総額3億2710万円

- 刈田病院貸付金返済金
- 太陽光発電事業者協力金
- コミュニティ事業助成金

国県支出金
 総額3億3186万円

- 物価高騰緊急支援事業
- コロナワクチン接種体制確保事業
- スマート農業確立モデル事業

特別会計歳入決算総額 9億1748万円
 前年度より1049万円歳入減となりました

◆七ヶ宿ダム自然 休養公園 1859万円	◆後期高齢者医療 2241万円	◆介護サービス 1410万円	◆介護保険 3億1995万円	◆公共下水道 1億2323万円	◆町営バス 4876万円	◆簡易水道 9021万円	◆国民健康保険 (直診) 9561万円	◆国民健康保険 (事業) 1億8461万円
----------------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-----------------	-----------------	------------------------	--------------------------

特別会計歳出決算総額 8億9869万円

前年度より約511万円の歳出減となりました

◆国民健康保険(事業)	1億8070万円
◆国民健康保険(直診)	9445万円
◆簡易水道	8958万円
◆町営バス	4732万円
◆公共下水道	1億2245万円
◆介護保険	3億1065万円
◆介護サービス	1375万円
◆後期高齢者医療	2202万円
◆七ヶ宿ダム自然 休養公園	1777万円



監査委員意見書(抜粋)

令和4年度の決算審査にあたり、法令に定められた権限と責任において誠実かつ厳正に審査した結果、各会計の決算書等の係数は正確で全般的に妥当なものであり、各種基金も確実な方法で保管され適正に運用されているものと認めました。

新型コロナウイルス感染症は、5回目のワクチン接種による感染防止や発熱外来設置等の対策が適切に行われ、医療保健関係者の努力によって町民の健康と安心が確保されたことに敬意を表します。

主たる事業では、移住定住政策や水田農業振興対策、指定管理施設の収益改善や地域おこし協力隊活動後の定住化対策など、更なる対策の充実が必要と思われます。

国保税や上下水道使用料は過年度分も含め未納・滞納が多額でありますので、滞納整理本部を中心に効果的な収納対策に取り組まれるよう申し上げ監査委員意見書いたします。

代表監査委員 神尾重行

令和4年度 決算特別委員会

一般会計

歳入

問 ふるさと納税の収入内訳は。

答 インターネットを通じ全国から41件あり、昨年より14件増となった。

歳出

民生

問 シルバー人材センターの登録者数と事業実績は。

答 登録者数は20名だが、活動実績数は1098名となっている。

商工観光

問 七ヶ宿ブランド事業の新たな品目は。

答 雪室仕込み七ヶ宿そばを認定した。

特別会計

国民健康保険

問 昨年のコロナワクチンとインフルエンザの予防接種の状況は。

答 コロナワクチンは1109名。インフルエンザは426名が接種している。

簡易水道

問 漏水箇所は何件あったのか。

答 昨年は8ヶ所で発生している。



▲老朽化が進む水道管

町営バス

問 町営バスの運行時間見直しが必要ではないか。

答 地域公共交通会議の中で協議していきたい。

決算特別委員会現場調査



▲有害鳥獣処理施設建設工事



▲ライスセンター備品購入

議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に加わりません

会議名	議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁	
					1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十嵐 敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 菅原 研治		
令和5年第3回定例会	第60号	教育委員の任命について	令和5年9月5日	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P4
	第61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第62号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第63号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第64号	七ヶ宿町有害鳥獣減容化処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について	令和5年9月7日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第65号	財産の取得について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P5
	第66号	令和5年度庁舎エレベーター整備工事請負契約の締結について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第67号	令和5年度防災備蓄倉庫新築工事請負契約の締結について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第68号	令和5年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第69号	令和5年度七ヶ宿町町営バス特別委員会補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第70号	令和5年度七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第51号	令和4年度七ヶ宿町一般会計歳入歳出決算認定について	令和5年9月14日	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P6
	第52号	令和4年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P10
	第53号	令和4年度七ヶ宿町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第54号	令和4年度七ヶ宿町町営バス特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第55号	令和4年度七ヶ宿町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第56号	令和4年度七ヶ宿町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第57号	令和4年度七ヶ宿町介護サービス特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第58号	令和4年度七ヶ宿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
第59号	令和4年度七ヶ宿町七ヶ宿ダム自然休公園特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃	

意見書の採択

宮城県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書

【提案理由】

乳幼児医療費の拡充を最優先課題として取り組み、下記の項目について早急に実現するよう求める意見書を宮城県に対して提出するもの。

- 1、県の乳幼児医療費助成制度について、18歳までの対象年齢引き上げ、及び所得制限を撤廃すること。
- 2、全国一律の制度となるように、制度の整備について国へ強く働きかけること。

決算特別委員長審査結果報告書(抜粋)

令和4年度七ヶ宿町一般会計外8特別会計について詳細な審査の結果全員一致で認定いたしました。各委員から後年度の予算編成や事務事業執行に工夫・改善を求める意見が出されました。

1. 税負担の公平性から職員一丸となり滞納整理にあたること。
 1. ふるさと納税制度に積極的に取り組み、財源確保と町特産品の推進を図ること。
 1. 有害鳥獣減容化処理施設やスマート農業関連機器が整備されたので、施設機器利用団体の積極的な経営努力に期待する。
 1. 指定管理施設の運営に行政の適切な指導監督を行うこと。
 1. 町営バスは町民の利便性を重視した調査研究を行うこと。
 1. 介護支援専門員の増員など将来を見据えた積極的な福祉政策に取り組むこと。
- 最後に監査委員から示された意見書の内容についても重く受け止め、町民を主体とした行財政運営を強く望み報告といたします。

決算特別委員会委員長 五十嵐 敏 夫

6月～8月までの議会・議長の動向

月日	場 所	会議・行事等名	出席者	摘 要
6月12日	町内	6.12 総合防災訓練	議長・副議長・高浩	
6月12日	議員控室	議会報告会・懇談会打合せ	議長・副議長・吉田・高浩	
6月12日	議員控室	行政視察打合せ	議長・副議長・五十嵐・渡部	
6月16日	仙台市	北方領土返還宮城県民会議	議長	
6月19日	仙台市	宮城県議長会正副会長会議	議長	
6/20-6/22	北海道福島町・八雲町	仙南巨理議長会議長視察研修	議長	
6月21日	第4会議室	議会広報特別委員会		
6月22日	高齢者センター	町シルバー人材センター総会	副議長	
6月25日	岩沼市	自民党第3選挙区支部総会	議長	
6月27日	第3会議室	議会報告会・懇談会実行委員会		
6月27日	第3会議室	議会改革検討特別委員会		
6月27日	第3会議室	全員協議会		
6月27日	第4会議室	議会広報特別委員会		
6月28日	大河原町	みやぎ仙南農協通常総代会	議長	
6月28日	白石市	白石地区暴力団追放対策協議会総会	副議長	
7月3日	南陽市	R399 福島南陽間改良期成同盟会総会	議長	
7月6日	開発センター	町スポーツ・文化振興理事会	議長	
7月7日	第3会議室	議会報告会・懇談会実行委員会		
7月7日	第3会議室	全員協議会		
7月7日	第4会議室	議会広報特別委員会		
7月10日	第3会議室	三重県志摩市議会行政視察研修対応	議長	地方創生：ふるさと振興課
7/11-7/12	蔵王町	仙南巨理地方常任委員長研修会	正副議長・吉田・五十嵐・渡部・高浩	
7月14日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部	
7月14日	相馬市	相馬港建設促進期成同盟会総会	副議長	
7月15日	町内	七ヶ宿ホテル観覧会	正副議長・五十嵐・渡部	
7月20日	仙台市	議会議員講座①	副議長・高茂・渡部・高き	
7月21日	仙台市	議会議員講座②	議長・吉田・五十嵐・高浩	
7月24日	仙台市	後期高齢者医療広域連合議会	吉田	
7月24日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部	
7月27日	町内	関保育所建設工事地鎮祭	議長	
7月28日	南陽市	故斎藤孝之助氏(元議長)告別式	議長・副議長	
8月1日	村田町・川崎町	村田・川崎町長出陣式	議長	
8月4日	仙台市	後期高齢者医療広域連合議会	吉田	
8/8-8/9	只見町・新発田市	議員行政視察研修		
8月15日	町内	令和5年度七ヶ宿町二十歳を祝う会	議長 外	
8月18日	第3会議室	議会改革検討特別委員会		
8月18日	第3会議室	報告会・懇談会実行委員会		
8月18日	蔵王町	町村議会議員セミナー		
8月21日	仙台市	西村明宏君を励ます会	議長	
8月23日	湯原コミセン	議会報告会・懇談会		
8月24日	活性化センター	議会報告会・懇談会		
8月24日	議長室	白石市議会議長・副議長就任あいさつ対応	議長・副議長	

令和5年度 七ヶ宿町議会行政視察研修

実施日：令和5年8月8日から9日の2日間
研修先：福島県只見町議会・新潟県新発田市農業生産法人

【産業建設常任委員会】

研修テーマ：「スマート農業の効率的な取り組み」
視察研修先：新潟県新発田市「有限会社アシスト二十一」



アシスト 21 は新たな組織を立ち上げ、飼料高騰に苦慮している酪農家との連携で発酵粗飼料の生産にも取り組み、飼料や圃場の土づくりに取り組んでいました。我が町の農業法人にも他の団体との連携を密に持続的な農業の形づくりを期待します。

委員長 渡部 英幸

アシスト 21 での若者の農業従事者育成と大型農業機械を使用し、他の業種グループと手を組み仕事を進めていくことに農業の新しさを感じました。七ヶ宿の農業従事者も補助事業を大いに活用しスマート農業に取り組んでいく若者が増える事を願います。

委員 高橋 浩之

若い人たちが耕作放棄地を作らないように、耕畜連携で先人たちが守ってきた農地を引き継いでいることに感銘した。新しい取り組みにチャレンジしていくことを恐れない若さにうらやましさを感じた。

委員 高橋 茂美

集落内の6世帯が集落営農を立ち上げ機械の共同利用からスタートして経営面積72haのうち飼料作物7haを作付けし、畜産農家と連携して堆肥の有効活用をしていた。我が町も農地が整備され農業機械もそろっているので大いに期待するところです。

委員 今野 三喜男

【総務文教常任委員会】

研修テーマ：「住民に開かれた議会改革」
視察研修先：福島県只見町「開かれた議会改革への取り組み」



只見町議会では議会のICT化やタブレット導入に積極的に取り組んでおり、議会報告会も団体や組織におもむいて実施するなど、議員の資質向上などを強く感じられ、七ヶ宿町議会でも議会のICT化に向けた体制づくりを進めることが必要と思います。

委員長 五十嵐 敏夫

只見町議会では人口減少に伴い議員定数が削減され、議会の機動的活動が求められたことから通年議会を導入し、また、議会広報委員会ではタブレットの導入により委員会の機能的な改善を図っていました。当町でも早い段階で導入をすべきと感じました。

委員 吉田 修

只見町議会の視察で議員一人一人がしっかりと勉強している様子が伺え、七ヶ宿町議会も率先して良いところを学び、情報の公開、町民参加、行政監視、政策立案の強化などに併せて通年議会による重責を果たす取り組みが必要と感じました。

委員 高橋 きく子

只見町議会では早くから通年議会制を導入し、行政監視機能の強化や議場のライブ配信、各種団体との意見交換など開かれた議会改革に取り組んでおり、七ヶ宿町議会も民意の共有を図りながら政策提言できる議会改革を足早に進める必要性を感じました。

委員 菅原 研治



五十嵐 敏夫 議員

昭和61年より開催されている「わらじで歩こう七ヶ宿」も今年で37年を迎え、参加者も定着傾向となっているが、今後のイベントのあり方について伺う。



▲今年のわらじで歩こう七ヶ宿

問 平成2年に旧七ヶ宿街道再整備工事として完成した、滑津の上小松沢に架かる「にしのさかはし」が通行止めになっているが、今後、施設整備すべきではないか。

答 完成から30年以上が経過し、過去にも修繕を行ったが、現在、橋脚や桁ともに腐食し、通行ができない状態である。今後、この施設全体の利用頻度と活用の有無、工事費用を総合的に検討し結論を出したい。



▲「にしのさかはし」

問 この橋は、総工費約3千7百万円で整備した貴重な町の財産なので修繕すべきでは。

答 現在、橋を新設する場合、概算見積もりで6千5百万円かかる。11キロのコースを見直す中で考えた。

問 現在の橋を新設するのはではなく、撤去し、簡易的な人が渡れる橋にすべきでは。

答 常に渡れる橋は安全性が必要なので、費用対効果を考慮し、総合的に判断したい。

問 この橋をこのまま放置するの。

答 今の橋が駄目なら、撤去を考えたい。

問 開催当時には、滑津安藤家本陣などを活用したが、旧七ヶ宿街道を彷彿させる場が少ないので、イベン



▲滑津安藤家

ト内容を見直すべきではないか。

答 「わらじで歩こう七ヶ宿」は、夏の風物詩として、参加者から評価されるイベントに成長してきたが、今後、わらじ街道全体について、できるだけ早く見直し、実行委員会に提案する考えである。

問 以前は、安藤家の利用などがあり盛大であったが、旧街道の面影が少なく、歩け歩け大会になっていないか。

答 どうすれば参加者に楽しんで頂けるのか研究に取り組んでいく。

問 「エアコン設置」の助成できないか

答 様々な課題があり、制度化は難しい

異常気象と言える近年、今年は連日猛暑が続く、防災無線から体調管理を促すアナウンスも頻りにあり、近年の猛暑は一過性のものでなく今後も続くと思うことから伺う。

問 猛暑が続く中、特に高齢者世帯のエアコンは、ぜひたく品ではなく必需品となっている事から、福祉対策としてエアコン設置への助成支援をすべきでないか。

答 冷房の適切な使用は有効と思うが高齢者訪問から見えてくるものとして、エアコンの使用上の問題や加齢による体温調節機能低下などの問題、電気工事や設置手続きなど、特に一人暮らしの高齢者は困難と思われるので、制度化は難しいと考える。

問 熱中症は自覚のないうちに進行する。特に高齢者は命にも関わることからエアコンが必要でないか。

答 これまで防災無線によるこまめな水分補給や、屋外作業での注意喚起などを行い、見回りが必要な世帯には訪問や声かけなども行っており、必ずしもエアコンが全て解決するわけではない。

問 本町では除雪機購入への助成制度もあり、購入する家庭も増加している。同様にエアコンの購入への助成も小さい自治体だから出るのはではないか。

答 すでに一家に1台ある所や、電気代など、設置効果についても確認が必要なので、しっかりこの夏の状況を確認して対応したい。



よしだ おさむ 吉田 修 議員





たかはし ひろゆき 高橋 浩之 議員

問 以前、所管事務調査で田中、湯原、峠田、関地区で現地調査が行われており、その報告書の中には堤防等の必要性や倒木撤去の必要性があったがその後の対応は。

答 町管理の河川については地区等からの情報提供により土木作業員による見回り点検及び支障木等の伐採、撤去を行っている。



答 緊急性のある案件については県事務所に出向き要請活動を行っている。また大河原土木事務所と協議の場を設け、早急に取り組んでいた様子を要請している。

問 白石川等に危険箇所等がある場合は県の担当部署に工事申請をされているとのことだが、申請等の先延ばしなど具体的な対策が取れない場合はどのような対応をしていくのか。

問 倒木や土砂堆積による河川等災害防止対策は

答 町管理区の河川は土木作業員で樹木伐採等を行い点検している



問 近年山林の伐採作業が盛んに行われているが、作業道の切り開きなど土砂堆積の原因に少なからずあると考える。伐採後の処理など町としての指導も必要ではないか。

答 林業事業者の方としっかり話をしながら、災害が起こらないような施工を町としても要請をしていかなければいけないと考えている。

問 町民への生活支援対策は

答 新たなプレミアム商品券の発行予算を計上

問 町ではコロナ禍の影響から、様々な生活支援を実施したが、ロシアのウクライナ侵攻などが要因となって食糧品に加え灯油や燃料なども高騰し、これから降雪の季節を迎える多くの町民にとって非常に厳しい状況となっていることから、高齢者や低所得者を対象とした生活支援を実施すべきでは。

答 生活支援対策については、6月下旬から低所得世帯には1世帯当たり3万円の緊急支援給付金を支給し、また、7月下旬から緊急支援給付金の対象とならない世帯についても、単身世帯に1万円、2人以上の世帯に2万円の生活支援金を支給し、8月末時点で約97%の世帯に支給を終えており、価格高騰に直面している全世帯に対して、家計支援の一助となったものと思っている。

問 子育て世帯に対する支援策も必要では。

答 本年5月に低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金事業を実施し、対象者への支給を終えている。

今後、冬を迎えるにあたり、原油高騰に対応し、3割増しのプレミアム商品券事業を実施するための費用を本会議の補正予算に計上し、10月から使用を開始できるよう準備を進めている。



たかはし きくこ 高橋 きく子 議員



クローズアップ

七ヶ宿に来てからの暮らし

この町に来てから今年の9月で8年が過ぎました。

関東で暮らしていた時は私も妻も会社員。お互い激務で家には寝に帰るだけの生活でした。

子供のことを考えた時、頭によぎるのは不安ばかり。待機児童問題、人が多すぎるが故に赤ちゃんに優しくないバスや電車内、家族だんらんなど考えられませんでした。

その後、地域おこし協力隊として移住し色々な作業を経験しました。今はご縁あって炭やきの仕事に出会い、独立し副業と合わせて生計を立てています。

自営業は大変ですが、四季の移ろいを感じながら体を動かすことに生きがいを感じています。そして柔軟な働き方は家族との時間もとりやすく幸せを感じることが多いです。



1982年、東京都調布市生まれ。サラリーマンを経て2015年七ヶ宿町地域おこし協力隊を2年勤めた後独立。「もりのわ工房」を創業し黒炭・ドライフラワーの製造販売を夫婦で手掛ける。



▲炭窯全容

色々な分野の担い手が減少していく中、この町の産業の一つであった炭やきを続けて一次産業の下支えになるよう、高品質なモノづくりをしていきたいと考えています。

井上 鎮夫

瀬見原地区にお住まいの井上さんより投稿いただきました。

あなたも議会の傍聴してみませんか？

次回の議会は令和5年12月6日から8日の会期で、第4回定例会を開催予定です。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑となり、熱中症の発症が多く見受けられました。

コロナ感染症も5類に移行した為か、マスク着用の減少や会食が増えたこともあり、断続的に確認され、まだまだ油断はできません。このような中、高齢者の7回目のワクチン接種も行われたほか、物価高騰対応として生活支援商品券の発行も行われました。

議会としても報告会や懇談会を通して町民の皆さんのご意見を拝聴し、安全安心を第一とした政策提言に取り組みしていきたいと考えています。

(五十嵐)

議会広報特別委員会

- 委員長 吉田 修
- 副委員長 高橋 浩之
- 委員 五十嵐 敏夫
- 委員 高橋 きく子

広報だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧ください。

▶連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

9月定例会の傍聴者は5名でした